

院外処方せんに記載されている検査値一覧表（作成日：2022年6月30日現在）

略名	項目名称	当院基準	単位	検査の意味
WBC	白血球数	3.3~8.6	10 ³ /μL	血液の細胞成分には白血球、赤血球、血小板があります。白血球は細菌やウイルスから身体を防御し、炎症や血液疾患で変化します。赤血球中のヘモグロビンは、酸素を運搬する役割を担っています。PLTは出血を止める血小板の数です。
Hb	ヘモグロビン濃度	男13.7~16.8 女11.6~14.8	g/dL	
Plt	血小板数	158~348	10 ³ /μL	
PT-INR	プロトロンビン時間 (PT) 国際標準比	-		抗凝固薬（ワルファリン）服用中の薬効評価の指標です。血液が固まる（凝固）ために必要な、たんぱく質の働きなどを総合的に判断するPT検査結果を、国際的標準表示方法で表したものです。
AST	アスパラギン酸アミノ トランスフェラーゼ	13~30	U/L	肝臓にどのくらい負担がかかっているか、肝細胞の障害の程度を示します。脂肪肝、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変などで増加しますが、肝臓以外にも心臓、赤血球、筋肉などの病気で増えることもあるので、それぞれのバランスと臨床情報で判断します。
ALT	アラニンアミノ トランスフェラーゼ	男10~42 女7~23	U/L	
T-Bil	総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	黄疸の程度を示します。肝臓疾患やある種の貧血などで増加します。体質が関係する場合もあります。
血清Cr	血清クレアチニン	男0.65~1.07 女0.46~0.79	mg/dL	腎臓の働きをみる検査です。腎臓から尿に排泄される老廃物なので、腎臓機能が低下すると増加します。クレアチニンは筋肉に由来する物質なので、筋肉量の多い人はやや高め、少ない人はやや低めとなります。e-GFRは血清クレアチニン値から計算された、腎機能の指標です。体表面積1.73m ² あたりの値で示されています。
e-GFR	推算糸球体ろ過量	-	mL/分/1.73m ²	
CK	クレアチンキナーゼ	男59~248 女41~153	U/L	骨格筋や心筋など筋肉の障害の程度を示し、心筋梗塞、筋肉疾患や薬剤の影響などで高値になります。
CRP	C反応性蛋白	0.00~0.14	mg/dL	体内における急性期の炎症や組織の破壊などがあると増加します。しかし障害のある臓器を特定するものではないので、総合的に病変部位を判断します。
K	カリウム	3.6~4.8	mmol/L	血液中の電解質は生体の機能を維持するためにそのバランスが一定しています。腎臓機能低下、脱水、内分泌機能などでこのバランスが変化することがあります。
HbA1c	グリコヘモグロビン	4.9~6.0 (NGSP値)	%	血糖値は採血時の状態で変動しますが、HbA1cは、過去1~2ヶ月分の平均血糖値を反映することから、長期の血糖コントロールを表す指標として利用されます。
UA	尿酸	男3.7~7.0 女2.6~5.5	mg/dL	老廃物の一種で、高値になると痛風になるリスクが高まります。